

腸管出血性大腸菌感染症

1. 2023年の届出数

(1) 内訳

総届出数 47人

- ・ 患者 19人

年齢; 4~84歳(平均35.1歳、中央値24歳)

性別; 男10人、女9人

HUS; 発生届なし

- ・ 無症状病原体保有者 28人

年齢; 1~69歳(平均38.5歳、中央値37歳)

性別; 男10人、女18人

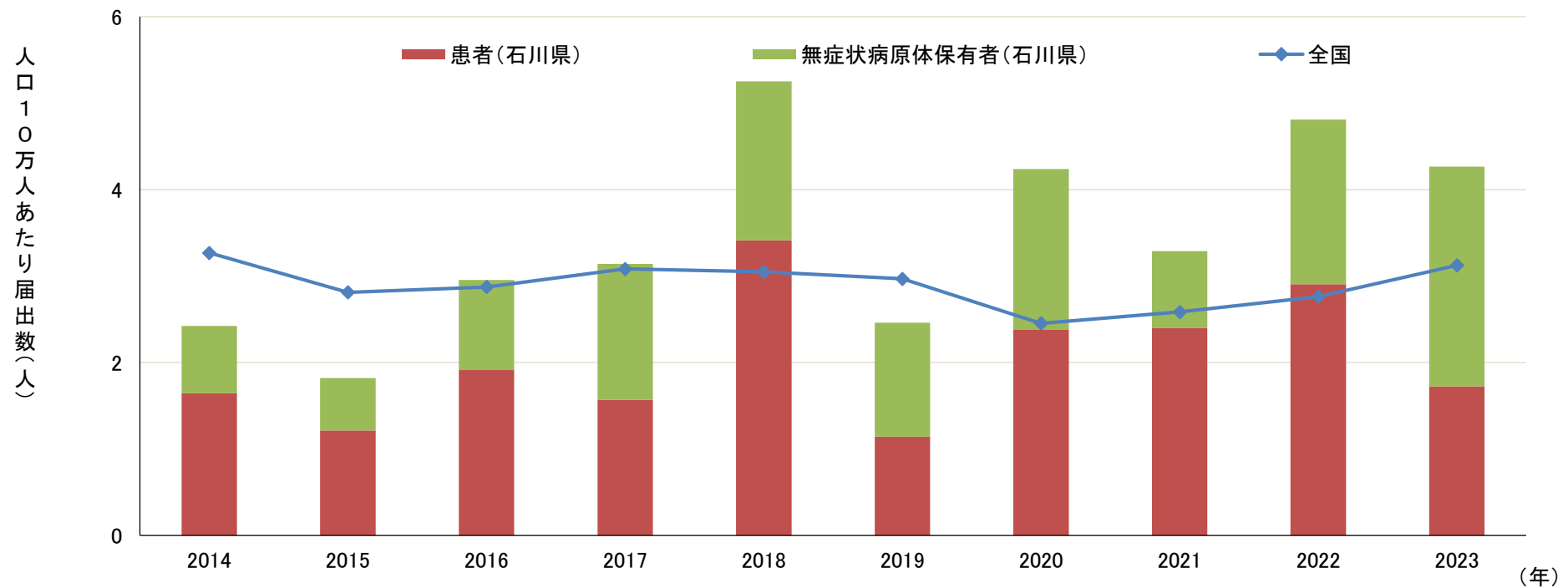
集団感染事例なし

(接触者検便で判明した家族内無症状病原体保有者事例を除く)

2. 届出数の推移

(1) 2014～2023年

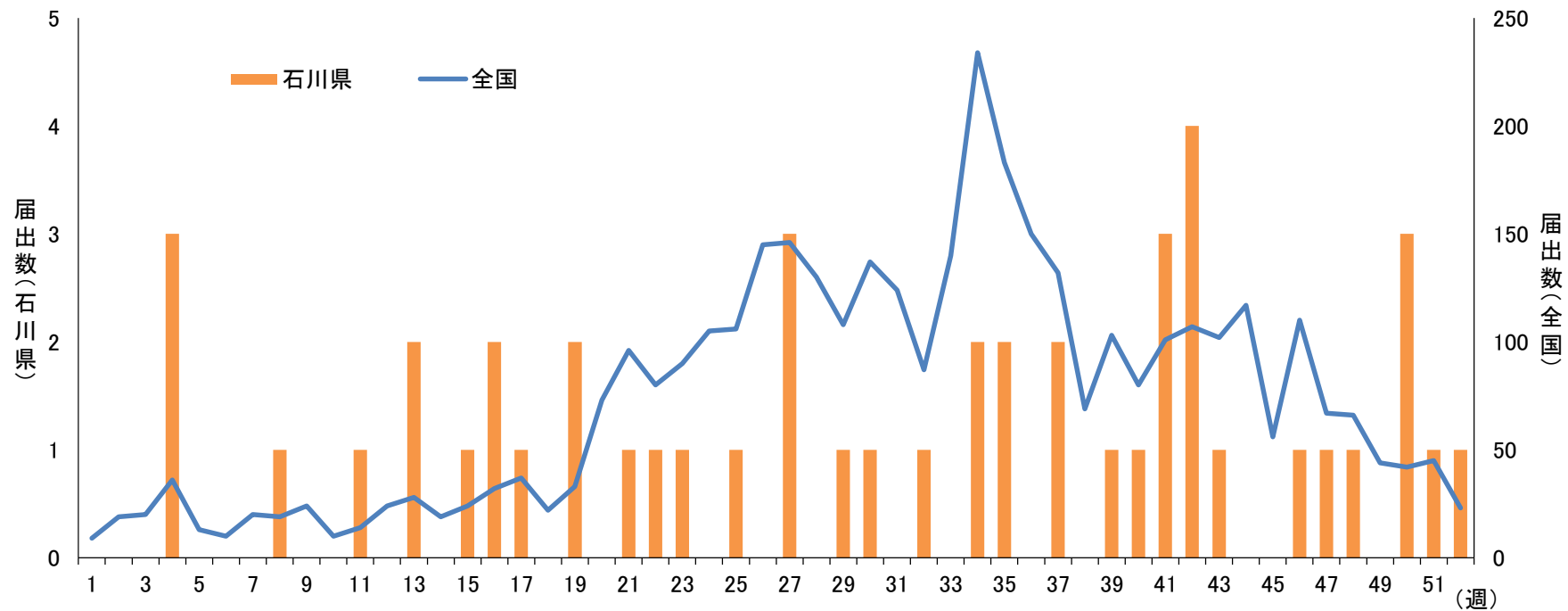
- 石川県における2023年の人口10万人あたり届出数は前年(2022年)よりやや減少し、無症状病原体保有者の割合が増加した
- 石川県は全国と比較して人口10万人あたり届出数が多い傾向にある



2. 届出数の推移

(2) 週別届出数の推移(2023年)

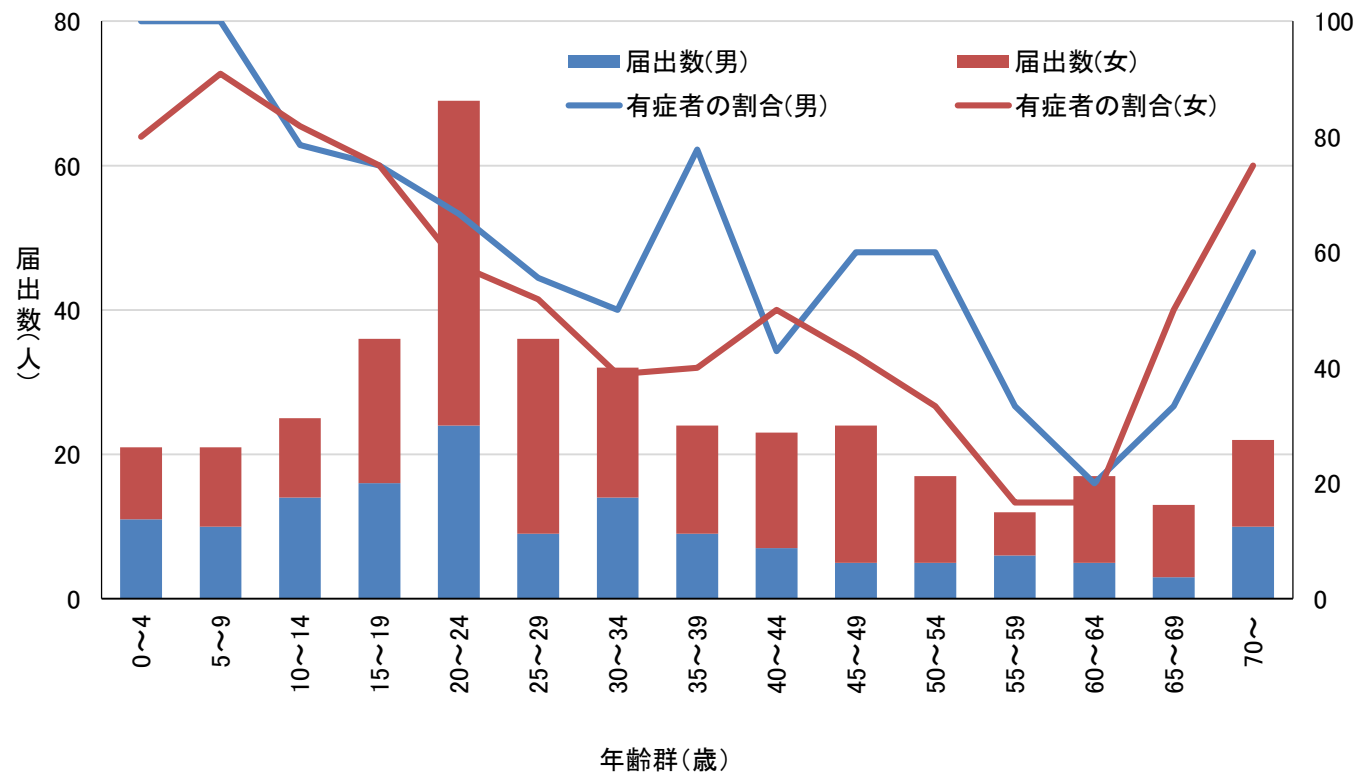
- 全国では例年どおり夏期に届出が多かった
- 石川県では季節に関係なく届出がみられた



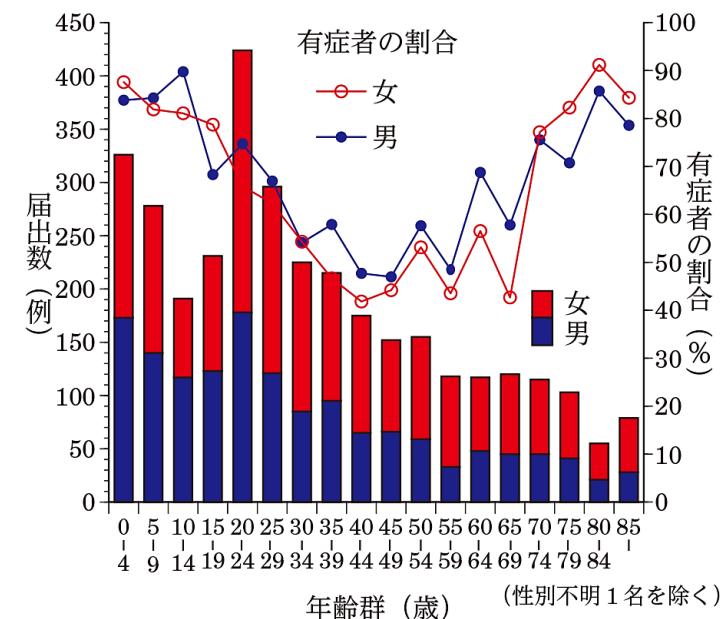
3. 年齢階級(年齢群)別届出状況

- 石川県における有症者の割合は全国同様、男女とも20歳未満および70歳以上で高い傾向

石川県(2014~2023年累積)



(参考) 全国(2022年)

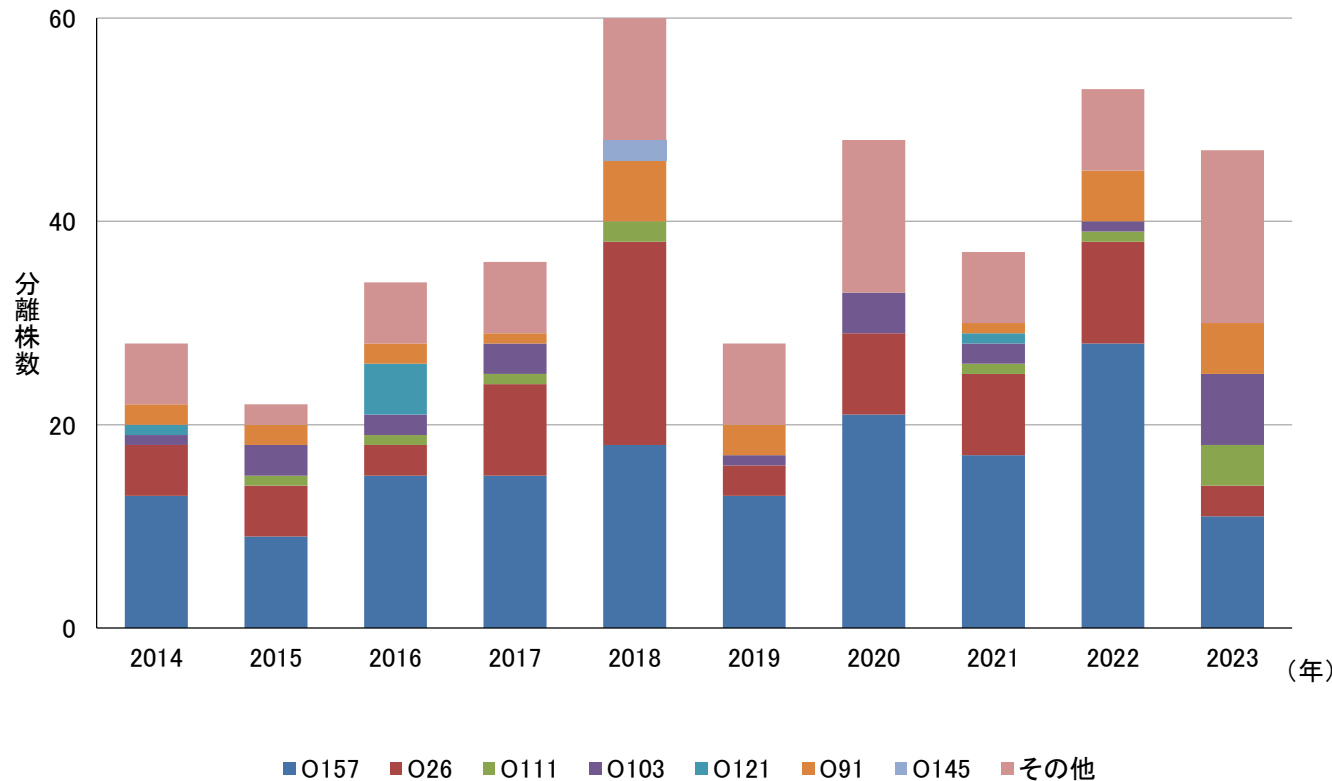


(感染症発生動向調査: 2023年3月22日現在届出数)

4. 分離株血清型の推移

- 2023年はO157やO26の主要血清型が減少し、それ以外の血清型が増加した

石川県(2014~2023年)



参考(割合)

